

指定 ゴミ袋

導入理由くずれる

～意見募集に、あなたも急いで参加しよう～

新型コロナウイルス対策が求められる中、市議会では、一般家庭ゴミに対する指定袋の導入計画が急浮上しています。

毎日のゴミに関係する重大局面であると同時に、「市民協働のゴミ行政」という本市の歴史

を壊しかねない計画です。

今、市民からの意見募集（パブリックコメント・締切9月30日）を市役所や公民館で実施しています。ぜひとも、急いでご参加いただき、ご意見をお寄せください。

①今でも、99%の市民はルールを守り、ゴミ減量化も進んでいます

『違反ゴミ』について、市当局は「ゴミ量の0.5%」とし、さらに「（ルールを守らずゴミを捨てる人の割合はさらに少ない）その指摘は合理的」、「違反ゴミを捨てる人は、市民かもしれないし、地域外の方かもしれない」と日本共産党の追及に答えました。

「ルール違反の是正」を理由にした家庭ゴミ指定袋導入の根拠は崩れています。

さらに、市民のゴミ排出量についても「長い

目で見れば大きく減少し、その結果、焼却炉の寿命も延びている」と市も認めました。

つまりゴミ減量化や経費削減は、現行ルールで既に実現しています。

【一人あたりの家庭ゴミ量 (g)】

09年611→14年516→19年497

【1世帯あたりの家庭ゴミ量 (g)】

09年1,514→14年1,220→19年1,135

②指定袋導入は、ゴミ処理有料化の布石！？

市当局は「指定袋の販売価格にゴミ処理手数料は含まれておらず、ゴミ処理費用を上乗せするゴミ処理有料化ではない」と回答。これは、ゴミ処理有料化方法を示唆したものとと言えます。

実際、08年に計画され、見送られているゴミ処理有料化案は「今後5年間は見送る」というだけ。ゴミ処理有料化は否定していません。

③市民からの意見募集は「ガス抜きではない」と明言

市当局は、「パブリックコメント（意見募集）はガス抜きではない」と答弁しましたが、今年12月には、指定袋を制作する事業者へ発注案を作成するスケジュールです。

日本共産党は、計画案を市民へ徹底し、意見を募集するためにも自治会回覧の実施とあわせ、

意見募集の締切の延長を提言しました。

行政からの一方的なルールの押しつけは、時代錯誤です。ゴミの資源化・減量化の徹底も、環境にやさしい地域の実現には、『市民との協働』が不可欠です。